『一生懸命』幻の新座市議会報告第251弾！

たかむらともや

2024年11月30日発行

先生の目

いよいよ「先生の目」が来年の２月に刊行されます。初めての出版なのでどうなるか分かりませんが、自分の本が本屋さんに並ぶことを想像するだけで、少しドキドキします。多くの方に読んで貰えたら幸せです。

右の写真の前列一番左が河合隆慶。僕の中二・中三のときの担任の先生です。

後列の右から3番目がリエちゃん。（美人でしょ？）テニスしか取りえの無かった僕に「テニス凄いね！」「勉強も一緒にしよう」そう言ってくれた子です。その一言で俄然勉強をする気になったのですから、単純と言うかバカ。そのバカの偏差値を40未満から63まで上げたリエちゃんは凄い！！

リエちゃんの隣、右から2番目が正子ちゃん。一年生の6月、休み時間に学年トップの正子ちゃんに呼び出され、浮かれすぎて階段を飛び降りて右足首を骨折しました。

もし、骨折してなかったら、僕はバスケットを絶対にやめてないので石神井高校にも北大にも行っていません。

間違いなく教師にもなってないので、僕の子ども達や教え子達の運命も変えた女の子です。そして、前列右から2番目がテニスでダブルスのパートナーだった青崎正紀。

青がいなかったら、新宿区で優勝してなかったでしょうから、彼もまた僕の運命を変えた一人です。そして、前列左から3番目が純。彼も「先生の目」に登場してきます。

純も河合隆慶の「先生の目」の影響で都立高校の先生になってしまうのです。

向後美佐子と河合隆慶という二人の偉大な「先生の目」に出会えたから、今の僕があります。五中・六中・二中・たかやん塾で僕と出会った子ども達も当然、その影響を受けているでしょう。どんな本になるかワクワクしながら最終校正をしています。（笑）

僕の人生を変えた人たちがたくさん写っています。担任の河合隆慶。リエちゃん、正子ちゃん、青、純一・・・懐かしい。

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや

東京青山生まれ。新宿区立西戸山中都立石神井高、北大庭球部卒（笑）

昭和52年4月、新設新座五中三年4組の担任となる。普通、大学を卒業したばかりの若造に中三の担任やらせるか！！

しかも、二年生の理科も担当させるんだから、本当に酷い先輩たちだった（笑）。

いくら校内暴力が吹き荒れた時代だからって、先輩達は三年の担任から逃げ、僕にやらせたのだから、滅茶苦茶な話。

でも、優しい子ども達に助けられ、その一年を乗り超え僕は調子に乗るのです。

趣味はテニス、筋トレ、音楽、読書、駅立ち、黒目川の川掃除。上田美小枝と二人で「市民と語る会」を結成。教育を中心にPTA,公園、ワクチン、マスク、香害などの問題に継続的に取り組んでいる。写真は川掃除に来てくれた小六の咲紀ちゃん。

たかやんの連絡先　自宅・塾　042-456-8869　携帯 090-6497-5737
takayanchan@outlook.jp　〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

再び税金の話

ここに何度も書いたように「税金」は財源ではありません。そこを理解できないと、真面目な人ほど「緊縮財政」に賛成してしまうのです。「国の借金」も大嘘です。真面目な人ほど、その嘘を信じて「緊縮財政」に賛成してしまうのです。そんなものは存在しないのです。”日・米など先進国の自国通貨建て国債のデフォルトは考えられない。”財務省がそう言っているので確かなことです。

「政党助成金」というお金があります。国民一人当たり250円に人口を掛けたお金が共産党を除く（受け取り拒否）各政党に分配されるお金です。当たり前のことだけど、最初に日銀がお札を刷って、政治家に配分するんです。他の公務員に対する給料も同じです。まず、お金を配分するんです。これをspennding firstといいます。

でも、お金を刷りまくって、溢れてしまったらインフレになります。だから、そのお金を回収しなければならない。それが税金なんです。それを誰から回収するのか・・・税金の本来の考え方でいけば、大金持ちや大企業からたくさん回収するのが当たり前。ところが、それを貧しい人から回収してしまおう・・・格差社会になってもいい。社会が不安定になって犯罪が増えてもいい。金持ちから金をもらって、票を貰えば安泰だ！それが消費増税を進めてきた奴らの考え。

国民主権とか民主主義とか、糞くらえ！ってことです。「貧しい奴らは投票にいかねえから」ってバカにされているんです。「大学に行けるのは金持ちの子どもだけでいいし、正規で働けるのも金持ちの子ども達だけでいい。」戦争がはじまったって、貧乏人の奴らが行けばいい。俺たちの子には行かせねえ！消費税を増税し続けて、大企業からは回収しない政策って独裁国家と何が違うだろう。自公の独裁も中国共産党の独裁も一部の人間たちが潤うのは同じだよね。トランプ政権よりも石破自民の方が心配なのは僕だけかしらん。

12月議会

９月議会では20項目も質問しましたが、今回は質問を絞っていこうと思います。

今、頭にあるのは1．ワクチン2．マスク3．公園4．特定検診5．タブレット6．PTA7．部活動の地域移項8．不登校対策9．デマンドタクシーの９項目。今回はこれくらいでいこうかなと思っています。（笑）

最近心配なのが新座市の学校現場。多くの学校で教師が不足しているという現実です。教師が不足しているということは、当たり前だけど授業の質がかなり低下しているということ。これはタブレットではカバーできないから、なんとかしなくてはいけません。

だから子ども達が心配なのです。子ども達には「いい先生」に出会って欲しい。

僕は「最高の先生」に出会えたから、今の自分があります。

「教師」という仕事がやりがいのある、誰からも尊敬される職業に戻さないといけませんね。それにはまず先生達の給料を上げることです。「給特法」をやめてサービス残業をなくすこと。そうすれば、教師志望が増え、先生達に笑顔が戻り、学校にゆとりができると思います。

僕らの時代には返済不用の「奨学金」がありました。それを復活させることも大事ですね。教師を目指す学生達と優秀な学生達にはには国が返済不用の「奨学金」で支援する。そういう仕組みが必要です。ケチケチしている場合じゃない。長い間、日本の経済を支えてきたのは「教育力」だったのだから。ミサイルや兵器をいくら爆買いしたって日本を守ることはできない。アメリカの兵器産業を潤すだけ。無能な国会議員の報酬なんか10分の１以下にしてもいい。

農業、漁業、林業、病院、介護、製造業、出版、警察、消防、市役所、自衛官、芸術家、教師、飲食、福祉、サービス業・・・・

どんな職業だって、本当に国の為、人の為に働いている人達にはそれなりの収入があって当たり前。違うかな？